



2019年1月31日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	13,931円
純資産総額	3,870百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除されています(後述の「ザ・2020ビジョンの費用について」をご覧下さい)。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	90.2%	▲8.9%
現金等	9.8%	8.9%
構成銘柄	55社	±0社

分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)	第4期 (2017年12月18日)	第5期 (2018年12月18日)
0円	0円	0円	0円	0円

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
10.95%	▲4.58%	▲15.36%	▲16.61%	14.18%	40.73%	39.31%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

運用責任者メッセージ

1月の内外金融市場は、昨年末の総悲観ムードから一転、反発局面となりました。先月のレポートで、「私たちは、変化に挑戦している成長株に対する確信度は揺らいでおりませんので、今後の巻き返しにご期待ください。」とコメントをしましたが、1月は早くもその巻き返しの局面となりました。日経平均株価が3.79%、TOPIX配当込(東証一部株価指数)が4.92%の上昇に対し、当ファンドは10.95%の上昇となりました。これは、昨年10月から年末にかけて、企業の実態価値以上に株価が下落したことを意味し、当ファンドではそうした企業が多く組み入れられていると思っています。変化に挑む企業は、こうした不確実な時代ほど、その強さを発揮します。どうぞ、引き続き、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
兼最高運用責任者 伊井 哲朗

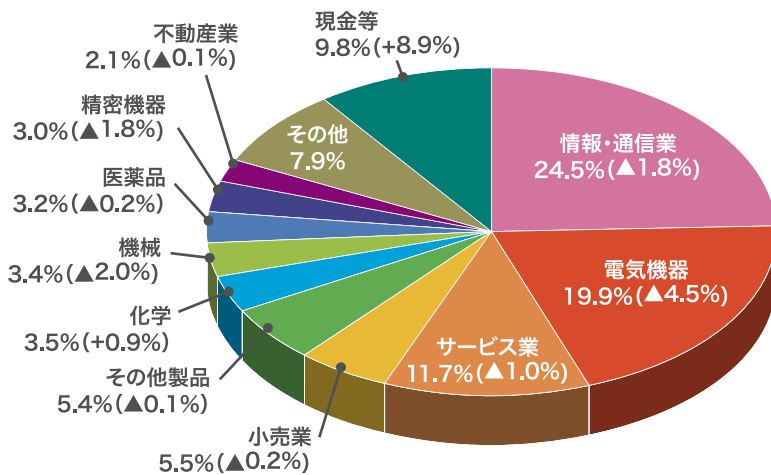
市場概況

前半の日本株は急落して始まりましたが、その後は堅調な戻り相場となりました。2日にアップルが売上高見通しを下方修正したことから米国株が急落し、4日の大発会は日本株も大幅下落から始まりましたが、週末にパウエルFRB議長が利上げを一時停止する可能性を示唆したことから米国の追加利上げ観測が後退し、翌週7日の日本株は大幅に反発しました。7日から9日に開催された米中次官級貿易協議で両国の貿易交渉の進展に対する期待から買われ、さらに15日に中国経済政策当局が景気支援のための大規模減税を実施すると表明したことも好感され日本株は上昇基調が続きました。

後半の日本株は一進一退の値動きとなりました。華為技術(ファーウェイ)CFOを巡る問題が再燃したほか、米中協議に対する期待が後退したことから日本株は下落となりましたが、その後に米国の暫定予算案の合意がされたことや、30日のFOMC後の議長会見でパウエルFRB議長が今後の追加利上げや保有資産の圧縮に関して慎重な姿勢を示したことから米国株が上昇し、翌31日の日本株も上昇となり日経平均は前月末比759円高(+3.79%)の20,773円で取引を終えました。

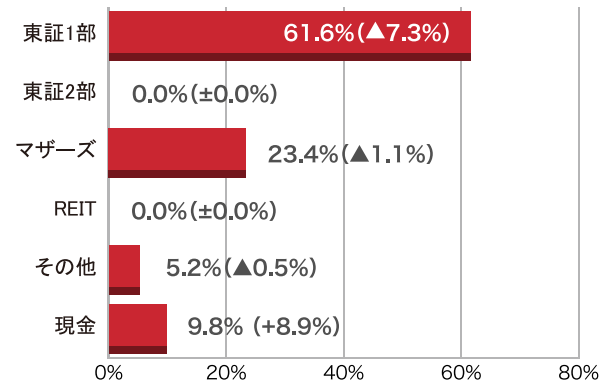
トレーディング部 瀧上 幸男

業種別構成比 ()内は前月比

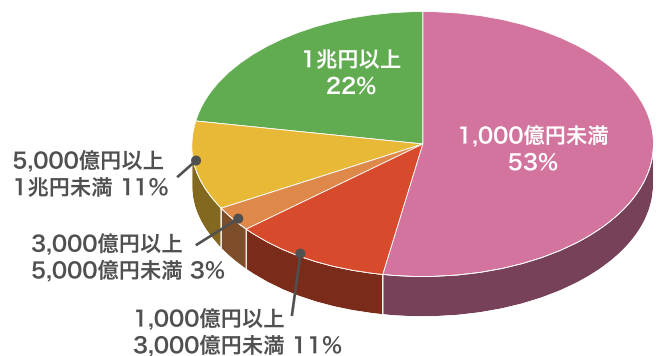


- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 時価総額別構成比については、構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を示しています。

市場別構成比 ()内は前月比



時価総額別構成比



運用状況

◎ファンドの月間リターンと主な投資行動

1月の月間リターンは10.95%の上昇となりました。TOPIX配当込指数は4.92%、日経平均株価は3.79%、東証マザーズ指数は10.54%の上昇でしたが、当ファンドはいずれも上回る好調なリターンとなりました。業種別の組入比率では、電気機器、機械、情報・通信の比率を少し低下させ、現金の比率を9.8%と高めました。市場の戻りに対応しつつ決算発表を慎重に見極めたいとの考えからです。また、組入上位にラクスル(4384)が登場していますが、ラクスルは新規上場時から投資を継続してきました。引き続き、外部環境の変化を意識しながら丁寧な対応を続けて参ります。今後も、当ファンドにご期待ください。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

最高運用責任者 伊井 哲朗

組入上位10銘柄の紹介

(2019年1月31日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
任天堂		据え置きゲーム機ハード、ソフトの総合大手。2017年に発売した新型据え置きゲーム機「Switch」およびソフトの販売が好調に推移。今後は有力新作ソフトの拡充に加えて、オンライン機能や「LABO」など新しいあそびの提案などに注目。
その他製品	4.3%	
日本電産		モータの開発・製造・販売が事業の中心。中期戦略目標「Vision2020」で掲げる2020年度売上高2兆円、営業利益率15%以上、株主資本利益率18%以上、の目標達成に向けて、4月1日付けで吉本新社長が就任し経営体制の一層の強化を図る。創業者である永守氏は、会長兼CEOとして引き続きグループを牽引。
電気機器	3.6%	
ソニー		新中期経営計画がスタートする2018年度より、吉田新社長のもと、「aibo」を起爆剤に民生エレクトロニクス再生を進め、「ユーザーに感動を与える”平井イズム”継承により、“元気なソニー”の復活を期待。
電気機器	3.6%	
エムスリー		医療従事者向け情報サイトで製薬会社への情報提供支援事業、医薬の研究開発のe化を推進する治験事業を展開。MR君(医療情報提供サービス)の持続的な成長に加えて、治験のe化を推進する「治験君」が第2の成長エンジンへ。
サービス業	3.5%	
ユーザベース		法人向け業界情報プラットフォーム「SPEEDA」、経済ソーシャルニュース「NewsPicks」を展開。既存事業のEBITDAマージン30%超を2020年までに、米NewsPicks事業を2021年に黒字化達成を目指す。
情報・通信業	3.3%	
ペプチドリーム		2006年7月に設立された独自技術である特殊ペプチドで新薬候補創製の事業に特化する創薬ベンチャー。従来の低分子化合物や抗体医薬品では難しい疾患標的に強力に作用する革新的な新薬を生み出す可能性を秘める。
医薬品	3.2%	
リクルートホールディングス		会社設立以来、60年を超えて常に変化を続け新しい価値の創造を続ける。峰岸社長は、「企業文化以外は全て変えていく」と決めて同社の変化を推進。この10年でゼロに近かった海外売上高比率も50%を超える勢い。
サービス業	3.0%	
ラクスル		ネット上で完結する印刷・広告プラットフォーム「ラクスル」を運営。大企業中心に垂直統合で形成された産業をインターネット・シェアリングにより水平分業化することで、日本全体の生産性向上に取り組む。長期的なプラットフォーム価値の最大化を目指した成長投資の効果に期待。
情報・通信業	2.7%	
メイコー		プリント配線板製造大手。最悪期を脱し、構造改革のステージを経て成長ステージへ突入。主軸の車載用、スマホ用ともに増勢基調。車載用は自動運転、電動化の普及拡大により需要は旺盛。スマホ用は中国、韓国向けに強み。需要拡大に伴い設備投資も活発化。
電気機器	2.7%	
SHIFT		すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を掲げ、中堅から大企業を中心にソフトウェアの品質保証・テスト事業を展開。卓越した実践力を持つ丹下社長、会社の「品格」面から成長を支える松尾副社長により、売上高1000億円超の世界No.1品質保証専門企業を目指す。
情報・通信業	2.6%	

● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。 ● 比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

私たちはロボット市場に注目しています。関連業界のすそ野が広く日本にとって強みのある産業の一つであり、知能化していけば人の助けとなるからです。政府の未来投資戦略(例年6月に改定)のなかでも、ロボットは人あるいは社会の生産性を高めるものとして、重視するテーマとなっています。政府は、2015年2月に策定した「ロボット新戦略」で、2020年のロボット国内生産市場を、製造業で2倍(6,000億円→1.2兆円)、非製造業で20倍(600億円→1.2兆円)、ロボット介護機器について500億円の市場を目指すとしています。特に、サービス分野の拡大に期待しております。製造分野のロボット市場は現在、一部調整局面にあります。中長期のトレンドでは、なお成長していくものと考えられます。サービス分野では、物流や食品を中心に警備、介護などの需要拡大が期待されます。

ロボットは、普及拡大に向けて進化を続けています。ここ数年では、2013年の規制緩和により、安全柵など空間を分けなくても使用することができる「協働ロボット」が認められました。今後求められる技術革新としては、手間のかかるティーチング(対象物をロボットアームの先端が正確にとれるよう、複数の関節の動きを調整してロボットに記憶させる作業)を少なくするあるいはなくす、ピッキングなどでの処理スピードの向上、低価格化、手首の柔軟化、などです。これらが実現していけば、ユーザーのロボット導入意欲が一段と高まっていくと思われます。ティーチングレスを可能にする技術として、人工知能(AI)技術「モーションプランニングAI」があります。この技術を使うと、ユーザーはロボットが作業して欲しい初期の姿勢とゴールとなる目標の姿勢を指示するだけで、ロボットがカメラ(ビジョン)を活用して環境や状況を判断して作業できるようになります。一方、搬送ラインで流れてくる製品をピッキングする場合、現状では、流れてくるものを数秒間、画像認知した後、ピッキングを行っています。制御技術の進化によって、画像認知にかかる時間はもっと短くなっていくと期待されています。ロボットの価格については、ここ十数年で1,000万円を超えていたものが数百万円まで低下したものもありますが、まだ中小企業に普及するには高価な金額です。ここにきて、月額課金という新しい料金スキームも出てきました。また、ロボットが対象物をやさしくしっかり掴めるように、繊維・皮革製の手首やゴム素材の人工筋肉を使った手首の開発が進んでいます。割れやすいもののピッキング、クリーニングの折りたたみ作業、弁当の具材入れ作業、介護施設など人と接する現場でも安心して使え、使い勝手も良くなると考えられます。



シニア・アナリスト
上野 武昭

コモンズPOINTからのお知らせ

【第6期POINTは(一社)日本知的障害者水泳連盟の継続応援に決定】

「ザ・2020 ビジョン」の寄付プログラム、コモンズ POINT (障がい者スポーツを応援するプログラム)の第6期(ファンドの決算に合わせて第6期としています)応援先を、(一社)日本知的障害者水泳連盟に決定致しました。 <https://www.common30.jp/fund2020/point.php>

プレスリリースや最終選考委員会については、ぜひこちらのブログをご覧ください。
<https://park.common30.jp/2019/01/6point.html>

また第5期の寄付金額は40万円となりました。日本知的障害者水泳連盟に対する贈呈式は、コモンズ10周年イベント@東京(4月6日開催)において執り行います。お仲間みなさま、ぜひご参加ください。
<https://www.common30.jp/seminars/detail/768>

各団体に対する貴重な応援の声を届けてくださったお仲間みなさまに深く御礼申し上げます。最終候補者であった (一社)全日本テコンドー協会や(一社)日本障害者カヌー協会についても広報活動などにおいて協力して参ります。引き続きご注目ください。

【「第12回全日本テコンドー選手権大会」@千葉ポートアリーナのお知らせ】

日時:2019年2月16日(土)17日(日)

パラテコンドー競技の部は、16日(土)10時開始予定。(多少時間が前後する可能性あり)。参加選手は10名です。

【お知らせ】

1月14日開催 第2回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会(会場:千葉県国際総合水泳場)にて、「みんなの水泳の絵」を実施することができました。コモンズPOINT応援団のみなさま、ありがとうございました。

https://park.common30.jp/2019/01/point_15.html



アジアパラ競技大会での選手集合写真



コモンズPOINT 最終選考委員会

コモンズPOINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎Pick up!セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。 <https://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名	日付	時間	場所	
はじめてのコモンズ(ファンド説明会)	2月7日(木)	19:00~20:30	コモンズオフィス(東京都千代田区)	
	2月13日(水)	19:00~20:30		
	【お子様連歓迎】2月14日(木)	13:30~15:00		
	2月19日(火)	19:00~20:30		
	【お子様連歓迎】2月24日(日)	10:30~12:00		
【お子様連歓迎】2月26日(火)	13:30~15:00			
北海道銀行×コモンズ投信共催セミナー よりよい明日のために ～未来を信じる力を育むコモンズ流投資術～	2月17日(日)	14:00~15:30	TKPガーデンシティ PREMIUM札幌大通 (北海道札幌市)	
コモンズのアナリストに聞いてみよう!	2月28日(木)	19:00~20:30	カフェサルバドルビジネスサロン(東京都中央区)	
コモンズ投信 10周年コモンズフェスタ	【京都】	3月16日(土)	13:00~17:00	国立京都国際会館(京都府京都市)
	【東京】	4月6日(土)	13:00~17:40	SMBCホール(東京都千代田区)

【2019年2月1日、運用部に新メンバーを迎えました。本人からの挨拶とお仲間皆さまへのメッセージです。】

「皆様、はじめまして。2月1日付でアナリストとして入社しました原嶋亮介です。これまで、ブリヂストン、日東電工、J-REIT資産運用会社にて、経理・財務・IRを中心に約16年のキャリアを積んで参りました。企業の側から機関投資家と接してきた経験はアナリストとして仕事をする中でも必ず生きてくると感じておりますので、自分なりの視点というもの的大事にしつつ、コモンズの更なる発展の力になりたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。」

アナリスト 原嶋 亮介



ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしく お願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行なえない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり感が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第32号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○			

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)	■ウェブサイト
	03-3221-8730	https://www.common30.jp/
<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>		<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p>コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>